

# Weekly Report 2022-2023



創 立 1969年4月14日  
認 認 1969年4月23日  
チャーターナイト 1969年11月9日  
発 行 I T ・ 広 報 委 員 会

会長：遠藤直樹 / 幹事：鈴木雅博 / 会長エレクト：磯崎裕祐 / 副幹事：吉岡哲哉 / S.A.A：吉本委子

今週のプログラム	第 2541 回	1 月 13 日
新春家族例会		
担当者	親睦活動委員会	例会場 天勝

先週のプログラム	第 2540 回	12 月 23 日
クリスマス家族例会		
担当者	親睦活動委員会	例会場 KANEMITSU CAPITAL HOTEL



### 遠藤会長挨拶

・ 本日は、クリスマス家族会という事で奥様、またお子様多数ご参加いただきまして誠にありがとうございます。日頃はロータリークラブ運営に際しましてご理解、ご協力いただきありがとうございます。岩本親睦委員長始め、委員会のメンバーが楽しい催しをご用意しておりますので最後まで楽しんでいただけたら幸いです。

会員の皆様には、2670地区ガバナー杯野球大会など色々な行事に際しまして、ご協力頂きましてどうにか半分終わり私自身ほっとしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年もコロナウイルス感染者の終息もまだ先が見えない状況です、ロシアとウクライナの戦争もまだまだ長引きそうで悪いことが多いなかで、唯一良かったことはサッカーのワールドカップでの日本の活躍はとても感激しました。何事にも日本代表みたいに強い気持ちを持って取り組みたいと思いました。

来年また皆様と笑顔でお会いできるのを楽しみにしております。本日はありがとうございました。



出席報告	出席委員長：大西一正
会 員 数 / 44名	出席規準数 / 42名
出席者数 / 25名	欠席者数 / 15名
出席率 / 59.52%	ビジター / 1名
最終出席率 / 12月9日 50.00%	→ 64.29%

### facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



### 委員会報告

・ 親睦委員より  
新年家族例会(1/13天勝)のご出欠の返事お願いします。

1月13日 今日は何の日	今日生まれの有名人
タバコの日 1199年 源頼朝、没(享年53歳) 1979年 国公立大学入試で初の共通一次試験	1968年 長山洋子 1942年 志賀勝 1959年 太川陽介 1899年 田谷力三 1955年 伊藤蘭 1543年 狩野永徳
誕生花 千両(せんりょう)、花言葉は“富貴”	
誕生石 キャッツアイ(cat's-eye)、宝石言葉は“心変わり”	

### 我等の生業

我等の生業さまざまなかれど  
集いて凶る心は一つ  
求るところは平和親睦  
力るところは向上奉仕  
おおロータリアン 我等の集い





<b>ニコニコBOX</b>	
よそ者ですがお世話になります。高松東RC 藤井様	
本日はありがとうございます。KANEMITSU CAPITAL HOTEL	
	代表 市川様
今年もお世話になりました。来年もよろしくお願ひします。江島	
遅刻してすいません。三倉	
合計 4 件	
本 日 の 合 計	18,000 円
2022-2023 年 度 累 計	499,000 円

<b>ビジター</b>
高松東RC 藤井 武志 様

<b>メイクアップ</b>
12月17日 2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ 大島
12月20日 高松中央RC 泉谷
12月21日 高松南RC 低田

<b>1月誕生日の樹</b>
3日 野口一臣 会員 ユズリハ(譲葉)
7日 川口英樹 会員 ナンテン(南天)
16日 辻隆志 会員 ダイオウショウ(大王松)
25日 三倉政智 会員 オウバイ(黄梅)
29日 岡村真史 会員 タチカンツバキ(立寒椿)
<b>記念樹</b>   -記念日と誕生日365日の+1の樹- 財団法人経済調査会発行より

**2023-2024 年度会長テーマ**

**世界に希望を生み出そう**

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ (スコットランド) の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24 年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。

この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

**RI 会長からのメッセージ (1月)**

2022-23年度国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

**居心地のよさと配慮によって絆を結ぶ**

ロータリーが最近会員に行ったアンケートの結果から、想定はしていたものの、リーダーたちの多くが思わず目を見張る事実が浮かび上がりました。それは、会員満足度を左右する最も大きな要因はクラブでの体験だということです。クラブがどれだけ居心地よく感じられるか、クラブの例会がどれだけ意義のあるものか、どれだけ自分が奉仕プロジェクトに関わっていると感じられるか。

私は今年度、この事実を世界各地のロータリーで目の当たりにしてきました。クラブとの絆を実感すると、会員は退会しようとは思わなくなります。そして、そういう絆から人と人との特別なつながりと、自分たちの奉仕の影響 (インパクト) を感じる「ロータリー・モメント」が生まれてきます。「イマジン・インパクト・ツアー」では、そうしたロータリー・モメントに光を当てて、会員の皆さんに自分たちのストーリーを語ることを促します。

しかし、そういう絆をつくり、維持するのに大きな効果があるものが、他にもあります。それは、居心地のよさと配慮です。私のロータリー仲間のトッド・ジェンキンスさんが言うように、「人々はあなたの頭の中をのぞくことはできないけど、あなたの行動は見るができる」

私たちは人間関係の中で生きています。お互いを大切にしたい、お互いに心からの気遣いを示すことができれば、一生の友達ができ、その友情の輪を広げるために行動するようになることでしょう。

どうすれば日々の暮らしの中で大切なことを見逃さず、そのことのために行動を起こせるでしょうか。答えは、お互いのために時間を使い、積極的に話を聞き、入会時期や役職にかかわらず、全てのロータリー会員を等しく接することにあります。

私を含め、ロータリーのリーダーたちは、皆さんのクラブ体験をより価値あるものにする方法について、いろいろなアドバイスをすることができます。しかし何より大事なものは、それぞれのクラブの各会員が自由に意見を話し、それに対し皆が耳を傾けることです。そしてお互いの話を聞くことです。ロータリーでの活動から得たいものをロータリー仲間と共有し、それを実現するためのオープンな話し合いをすることをためらってはいけません。

ロータリークラブを率いるというのは、そのような対話を促し、新しいアプローチを積極的に試みることなのです。優れたリーダーシップとは、与えること、そして支えること、そして勝利を味わわせることなのです。最後に、クラブのリーダーたちにお願ひがあります。世界中で、女性会員の増強にもっと注力すべきです。今年度は少し女性の会員数が増えていますが、もっといい結果が出せるはずですよ。ロータリーは再び成長の時を迎えています。執筆時で、ロータリアンの数が120万人を再び超えるのに、あとほんの少しのところまできています。ですから、大勢の新会員をクラブに迎え入れて、一生ロータリー活動を続けてもらえるように、配慮を高め快適なクラブ体験が得られるように、これまで以上に頑張ってください。

<b>次週のプログラム</b>	<b>第 2542 回</b>	<b>1 月 20 日</b>
卓話：「危機管理について」 三倉政智 会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松